

2021年10月25日

各位

株式会社鳥取銀行

## 八頭町および株式会社シーセブンハヤブサとの 「八頭町未来の田舎（まち）プロジェクト」推進に向けた連携協定の締結について

株式会社鳥取銀行（頭取 平井 耕司）は、八頭町における地域課題解決に取り組むことを目的に、八頭町（町長 吉田 英人）および株式会社シーセブンハヤブサ（代表取締役 古田 琢也）と「八頭町未来の田舎（まち）プロジェクト」推進に向けた連携協定を2021年10月25日に締結しましたので、お知らせいたします。

当行は本連携協定において、地域課題の解決に参画する企業の誘致やコーディネート、参画企業の資金調達について支援を行います。

当行は、自治体、地域企業等と連携し、課題解決を通じた地域の価値向上に努めることで「地域を支え、明るい未来を創造するコンサルティングバンク」を目指してまいります。

### 記

#### 1. 協定の背景

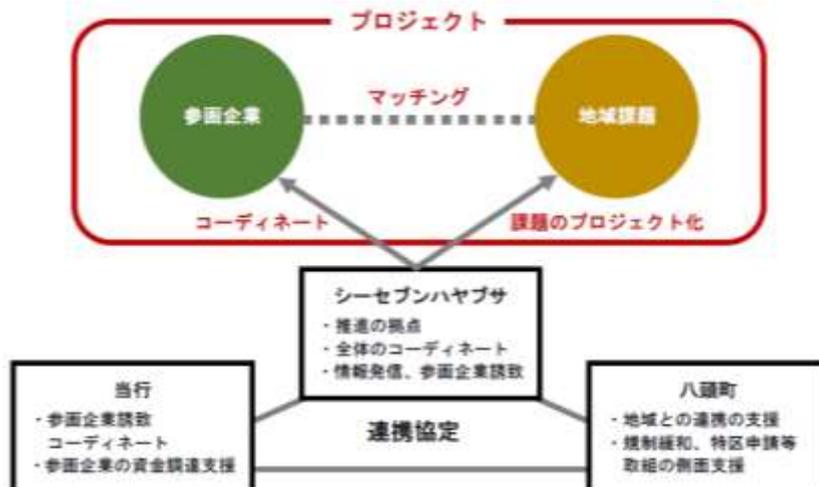
2017年12月に八頭町の新たな地域の拠点として創設された“コミュニティ複合施設”「隼Lab.」はオープンから4年を迎えます。隼Lab.は、子どもからご高齢の方までの様々な世代、また地域住民やビジネスパーソンなど、多様なコミュニティがゆるやかに交わる複合的な機能を持つ施設を目指してきました。

当行はその運営会社である株式会社シーセブンハヤブサに対し、出資及び行員の出向というかたちで側面から支援を行なっています。

隼Lab.における取り組みをさらに発展させ、八頭町における様々な地域課題の解決に取り組むため、本協定を締結します。



#### 2. 協定の概要



行政としての八頭町、まちづくり会社シーセブンハヤブサ、地域金融機関の当行がそれぞれの強みを生かし、連携。地域内外の企業の参画を促し、その技術やサービスを活用し、地域の課題解決を目指します。

3. 協定に基づく課題解決に向けた取組み

(1) 取組み内容

以下の課題に対する取組みを一例として検討していきます。

- 産業：循環する地域の産業の仕組みづくり
- 働き方：多様なワークスタイルに柔軟に対応する環境づくり
- 生活：誰もが便利で心地よい暮らしの実現
- 子育て：みんなで子どもを見守る社会づくり
- 教育：学ぶ意欲と可能性をのばす環境づくり
- 環境：地域の豊かな資源を守る
- 災害：いのちを守る準備と対策の徹底

(2) 具体的な取組み

現在、実証実験等事業実施に向け、参画企業2社による以下の取組みを予定・検討しています。



株式会社 skyer

(鳥取県西伯郡大山町 代表取締役 宇佐美 孝太)

- ・ ドローンを活用した生活物資の配送 (災害時や買物困難者等)



株式会社セガ エックスディー

(東京都新宿区 代表取締役社長執行役員 CEO 尾崎 雄一)

- ・ エンタテインメントのノウハウを活用し、「生活」「健康」「災害」などの分野での実証実験を検討

なお、株式会社セガ エックスディー社については、当行の紹介により、上記実証実験および単Lab. 入居の検討が開始されました。

【連携協定調印式の様子】



以上

<< 本件に関するお問合せ >>  
 営業統括部 (田中)・経営統括部 (須田)  
 TEL 0857 (37) 0263・0857 (37) 0260